

■安部公房 <敗戦>後の作家として、三島由紀夫と並んで世界的に認められ、ワープロなど逸早く導入、発明の才もあった。

あべこうぼう

護憲三派圧勝1924= 東京西ヶ原で長男に生れる。祖父母は四国の北海道開拓民で、父は満州医大に籍を置く医師で、国立栄養研究所に派遣されていた。母は東京女子高等師範国文科を中退して、プロレタリア文学に関心。

治安維持法・1925= 1歳：父母とともに渡満。

満州事変・・・1931= 7歳：

国際連盟脱退1933= 9歳：

二二六事件・1936=12歳：奉天(現瀋陽)の小学校を卒業し、第二中学校に入学。自宅にあった文学や劇の本を読みあさる。

日中戦争始・1937=13歳：

大政翼賛会・1940=16歳：中学校を卒業して帰朝し、東京の成城高校理科乙類に入学(一時身体を壊して奉天に戻る)。数学は得意であったが、文学書を耽読。

日米開戦・・・1941=17歳：
・・・1942=18歳：

創価学会検挙1943=19歳：成城高校を卒業、東京帝国大学医学部に入学したが、殆ど無為に過す。

年金+総武装 1944=20歳：敗戦の近いことを知り、偽って北朝鮮経由で自宅に戻る。

敗戦・・・1945=21歳：終戦後、チフスの大流行があり、診療にあたった父も感染して死去。

新憲法公布・1946=22歳：奉天市内を転々、サイダー製造などで生活。やっと乗れた引き揚げ船内でコレラが発生し、異常な体験。

新憲法施行・1947=23歳：北海道の祖父母の家から単身上京。東京大学医学部に編入。女子美術専門学校を卒業したばかりの山田真知子と結婚。のち公房の本の装幀や劇の舞台装置の大部分をてがける。勅使河原宏らと「世紀の会」を結成。長編小説「終わりし道の標べに」を執筆、阿部六郎から埴谷雄高に紹介される。「無名詩集」を自費出版。

東京大学医学部を卒業。「終わりし道の標べに」が刊行される。この頃から Kommunismus に近づく。

独立回復・・・1951=27歳：***赤い罫で戦後文学賞。最初の作品集「壁」で芥川賞。**

メーデー事件・1952=28歳：作品集「飢えた皮膚」と「闖入者」を刊行。

自衛隊発足・1954=30歳：長女ねりが誕生。書下ろし長編小説「飢餓同盟」刊行。

55年体制始・1955=31歳：「制服」「どれい狩り」が上演され、最初の戯曲集「どれい狩り・快速船・制服」を刊行。

国連加盟・・・1956=32歳：チェコスロヴァキア作家大会に出席。作品集「R262号の発明」を刊行。

なべ底不況・1957=33歳：長編小説「けものたちは故郷をめざす」刊。最初の評論集「猛獣の心に計算器の手を」刊。「棒になった男」が放送され、芸術祭奨励賞。

インスタントラーメン・1958=34歳：戯曲「幽霊はここにいる」で岸田演劇賞。花田清輝らと「記録芸術の会」結成。

美智子妃・・・1959=35歳：「日本の日蝕」が放映され、芸術祭奨励賞。

安保闘争・・・1960=36歳：長編小説「石の眼」刊行。「煉獄」が放映され、芸術祭奨励賞。

タイタイ病始・1961=37歳：新日本文学会の同志と共産党へ抗議声明。映画「おとし穴」でシナリオ作家協会賞。

全国総合計画1962=38歳：共産党を除名される。***書下ろし長編小説「砂の女」刊行、世界中で評判になる。放送「吼えろ！」で芸術祭賞、武満徹との合作「チャンピオン」では民放祭賞。**

TV宇宙中継始1963=39歳：「砂の女」が読売文学賞。放送「虫は死ぬ」で芸術祭奨励賞。

東京カンピョウ 1964=40歳：映画「砂の女」が完成、カンヌ映画祭審査員特別賞。長編小説「他人の顔」刊行。作品集「無関係な死」「水中都市」を刊行。「目撃者」が放映され、芸術祭奨励賞。訪ソの帰路アメリカでH・ミラーに会う。

大学紛争始・1965=41歳：長編小説「榎本武揚」刊行。エッセイ集「砂漠の思想」刊行。この間妻真知から多大の影響を受けてきたが、舞台美術家として大きな存在となってきた妻から逃げたくなったのか、

いざなぎ景気1966=42歳：桐朋学園短期大学芸術科に新設の演劇コースの教授に就任。教え子の山口果林と出会うと、

美濃部都知事1967=43歳：作品集「人間そっくり」刊行。書下ろし長編小説「燃えつきた地図」を刊行。戯曲「友達」で谷崎潤一郎賞。

川端康成、石川淳、三島由紀夫と連名で中国文化大革命へ抗議声明。

霞ヶ関ビル・1968=44歳：作品集「夢の逃亡」を刊行。フランスで「砂の女」が最優秀外国文学賞。

全共闘ビーク・1969=45歳：戯曲「棒になった男」刊行、上演。果林が女優としてデビューする前から愛人関係に入り、

大阪万博・・・1970=46歳：「安部公房戯曲全集」、放送ドラマ関係の「安部公房集」が刊行される。

ドルショック・・・1971=47歳：戯曲「未必の故意」、エッセイ集「内なる辺境」刊行。

日中国交回復1972=48歳：「安部公房全作品」刊行。

石油ショック1973=49歳：演劇グループ「安部公房スタジオ」を結成・主宰。書下ろし長編小説「箱男」刊行。戯曲「愛の眼鏡は色ガラス」を刊行、上演。

角栄金脈辞任1974=50歳：戯曲「緑色のストッキング」を刊行、上演し、読売文学賞。

クランポール事件1975=51歳：戯曲「ウェー」刊行、上演。夢のスナップ・ショット集「笑う月」刊行。コロンビア大学から「名誉人文科学博士」号で渡米。

JALハイジャック・1977=53歳：書下ろし長編小説「密会」刊行。アメリカ芸術科学アカデミー名誉会員。

成田衝突・・・1978=54歳：

革新大敗北・1979=55歳：「安部公房スタジオ」を率いて渡米、「仔象は死んだ」が好評を博す。

貿易摩擦問題1980=56歳：「都市への回路」刊行。妻と別居状態となり、果林と結婚すべく離婚を望むも、懇意の編集者からノーベル賞を取るまでダメと言われて断念、

中曽根内閣・1982=58歳：

・・・1984=60歳：書下ろし長編小説「方舟さくら丸」を刊行。

バブル始・・・1986=62歳：エッセイ集「死に急ぐ鯨たち」刊行。***考案した簡易着脱型タイヤ・チェーンで国際発明家展銀賞。**

竹下内閣・・・1987=63歳：

ソ連崩壊・・・1991=67歳：長編小説「カンガルー・ノート」を刊行。

バブル崩壊・1992=68歳：愛人果林のマンションで***執筆中、脳内出血による意識障害を起こし、緊急入院。**

55年体制終・・・1993=69歳：一時退院するも、再入院し急性心不全のため、没した。

ワープロ・フロッピーから、執筆中の小説「飛ぶ男」とエッセイ「もぐら日記」が発見され、のち刊行掲載。